



日本大学文理学部国文学科
日本語基礎演習 2

はじめに

月9のヒロインからみる 方言ステレオタイプ

吹き替え作品での 関西弁の扱い方

漫画と実写化映画の方言

方言ステレオタイプの 反映の程度

漫画における 方言の扱われ方

少女漫画における 大阪方言

漫画における 広島弁キャラの ステレオタイプとの比較

おわりに

漫画における広島弁キャラの ステレオタイプとの比較



8.4.個人分析 (山田雄太郎)

男性の広島弁キャラクターの印象が方言ステレオタイプと異なった印象になるのか、また、方言ステレオタイプにあてはまるのであればどういった部分で当てはまるのかを検証する。さらにキャラクターの性格や作品の世界観で与えられる役割 (= 方言によるキャラクターの印象) がどのように異なるのかを比較し、まとめていく。

表4 各キャラクターとステレオタイプの比較

ステレオタイプ	おもしろい	かわいい	かっこいい	あたたかい	素朴	怖い	男らしい	女らしい
桐島青大			△		△	○	○	
射場鉄左衛門	△		◎		△	△	◎	
ガマブン太			○			◎	◎	
サカズキ/赤犬			○			○	◎	

【桐島青大 (君のいる町)】

舞台が広島県ということもあり作中のキャラクターは広島弁を話すことが多い。そのため“キャラ付け”としての方言といった使い方はないように感じた。これはステレオタイプにない素朴という点が表している。

【射場鉄左衛門 (BLEACH)】

比較したキャラクターの中で最も「かっこいい」「男らしい」セリフが多いキャラクターとなった。反面「怖い」のスコアがステレオタイプを下回った。出番自体は決して多くないがギャップや見た目のインパクトが強いため、印象に残るキャラクターとなっている。バトルものということもあり、登場キャラクターが多いため“キャラ付け”としての方言という印象が強い。これは表1からも見て取れる。さらに「おもしろい」「素朴」という印象があることでよりインパクトのあるキャラとなっているのではないだろうか。

【ガマブン太 (NARUTO)】

ステレオタイプ通りのキャラクターである。親分気質で面倒見が良い。煙管を銜え、腹にさらしを巻き法被を羽織るといった容姿をしている。上からものをいう態度もあり、かなり怖いドスの利いた広島弁で話す。しかし一応主人を気遣ったりする一面もありただ単に怖いキャラクターというわけではない。親分気質、見た目からもどことなく任侠的なイメージを持つ。これが広島弁が持つ怖いという印象にも関係があるように感じる。表1の「怖い」「男らしい」からも見て取れる。

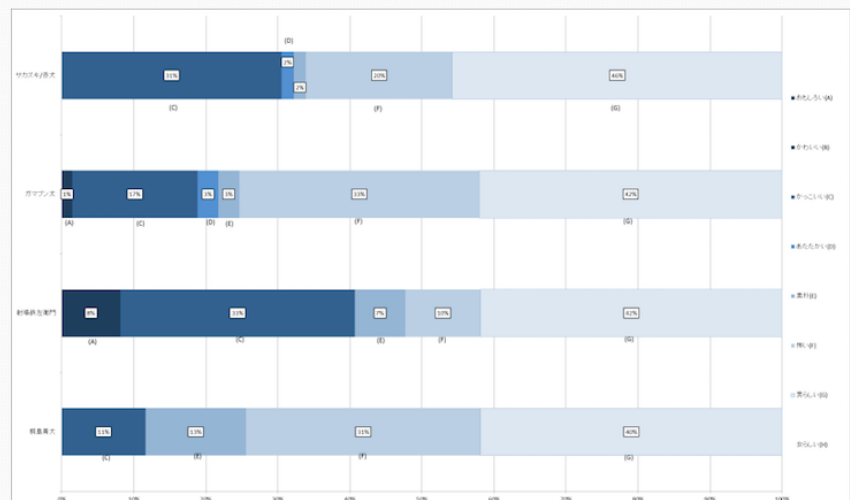
【サカズキ/赤犬 (ONE PIECE)】

ステレオタイプに当てはまったキャラクターである。ワンピースにおける海軍では己の正義を信ずるおもものとしており、男らしく、かっこいいセリフが多い。やはりバトルものということもあり、登場キャラクターが多いため“キャラ付け”としての方言という印象が強い。ステレオタイプなキャラクターとなっているのではないだろうか。

【まとめ】

下記の図1からわかるように「かっこいい」「怖い」「男らしい」が印象の大半を占めている。しかし、そこにプラスした要素があるキャラクターが印象に残りやすくなっているように感じる。ジャンルがバトルものである3人は数多くいるキャラクターの中で印象付けるための“方言”という印象を受けた。だからこそステレオタイプにそったスコアになったのだろう。

図1 各キャラクターの項目別の割合



→ 8.1.目的

→ 8.3.個別分析 (平山直人)

→ 8.5.ジャンル別での比較

→ 8.6.性別での比較